

向い、台

千葉市立都小学校だより

令和4年度 5月号



校長 鈴木 巧

目には青葉 山ほととぎす 初鯉

入学式まではがんばって咲いていた桜もすっかりと舞い落ちてしまい、今は青葉が目にも染みるようになりました。きっと山に行くと、ほととぎすが鳴き、鯉もさぞかしおいしいのでしょうね。

新入生を含め、一つ学年が上がった子どもたちは、新しい友達、先生にも慣れてきて、授業中も休み時間も、元気よく学校生活を送っています。

コロナウイルスの感染については収まってきてはいますが、まだまだ油断は禁物です。これからゴールデンウィークに入りますが、各ご家庭においては、引き続きコロナウイルス感染予防に努め、生活のリズムが崩れることがないようにご留意いただきますようお願いいたします。

さて、21日には運動会が行われます。昨年・一昨年は「都リンピック」として開催しました。今年は名称を「都小創立150周年記念運動会」としました。全校を1・3・6年と2・4・5年の二つに分けての開催となります。学年別紅白リレーも行い、子どもたちが中心となって、すばらしい活動となるよう努力いたしますので、応援よろしくをお願いいたします。また、学年ごとの練習が始まり、体育の授業が多くなる時期でもあります。ご家庭で十分に休養を取らせていただき、最良のコンディションで当日を迎えることができますよう、ご協力をお願いいたします。

都小150年の歴史(1) 二宮尊徳像

今年度創立150周年を迎え、歴史と伝統のある都小には多くの歴史的建造物や周年行事を記念した様々な建立物が現存しています。学校だよりを通してその中のいくつかを紹介していきます。学校に来たらどこにあるか探してみてください。

まず始めは二宮尊徳像です。二宮金次郎とも言いますね。今は南坂を登ったところにあり、南校舎で勉強している皆さんを見守ってくれています。

古くなって読みにくいのですが、この像には「昭和11年9月8日」と刻まれているので、そのころから数えるともう86年もの間、都小の子どもたちを見つめてくれていることとなります。創立110周年の記念誌によると、加曽利町に住んでいた大和田安太郎さんが寄贈してくれたものだそうです。

この像には「以德報徳」という文字が書いてあります。良いことをしてもらったら良いことを返していきましょう、という意味です。いい言葉ですね。これからも都小学校では良いことを進んで行う子どもたちを育てていきたいと思えます。

